

製品名: ADK ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02890**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 41 kDa; Observed MW: 41 kDa

抗原情報

遺伝子名	ADK
別名	ADK; Adenosine kinase; AK; Adenosine 5'-phosphotransferase
遺伝子 ID	132
SwissProt ID	P55263
免疫原	ヒト ADK の組み換えタンパク質

背景

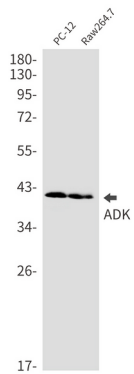
アデノシンおよび関連ヌクレオシド類似体の ATP 依存性リン酸化により、モノリン酸誘導体が生成される。細胞外アデノシンおよび

細胞内アデニンヌクレオチドの濃度を調節する可能性がある。

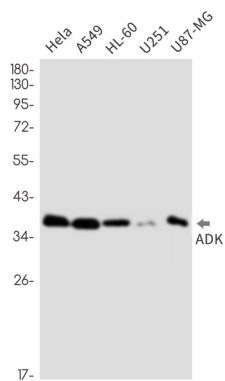
研究分野

シグナル伝達

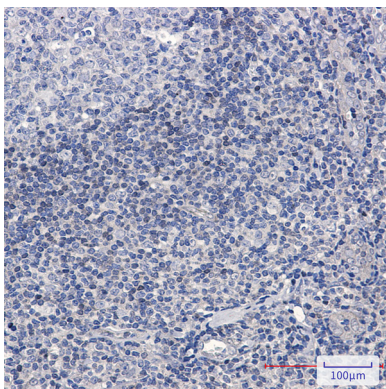
画像データ



ADK 抗体を使用した PC-12、Raw264.7 溶解物中の ADK のウェスタン ブロット分析。



ADK 抗体を使用した HeLa、A549、HL-60、U251、U87-MG 溶解物中の ADK のウェスタン ブロット分析。



ADK 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。